

多様な個性を引き出す教育 ～主体的・自律的な力を育む～

海津市教育委員会

1 はじめに

海津市は、人口減少・少子高齢化が進んでいる現状に歯止めをかけるために「子育て世代に選ばれるまちづくり」を市長公約の最上位目標とし、その実現のために11の重点施策を「海津イレブン」と位置付け、様々な施策に取り組んでいます。その中の、重点施策の1つとして「多様な個性を引き出す教育」を掲げ、誰一人取り残すことなく、子どもたちの多様な個性を最大限に生かすことのできる魅力ある教育ができるように取り組んでいます。

学校現場の現状では、児童生徒数の減少、不登校傾向の児童生徒の増加など喫緊の課題とともに、3年目となったコロナ禍を経験する中で、改めて子どもたちに必要な力は何かが見えてきたと感じています。これらの現状を踏まえ、これからの社会を生き抜く子どもたちに、主体的で自律的な力を育むことが必要であると考え、未来の学校とはどのような形なのか模索しながら一歩一歩教育施策を進めているところです。その柱となる取組を3つ紹介します。

2 多様な個性を引き出し、主体的で自律的な力を育むAIドリル、電子書籍の導入

(1) 市内全児童生徒にAIドリル「Qubena (キュービナ)」を導入

- ・全員に個別最適化された問題に挑戦できる環境を整え、主体的に学び続ける自律した子どもたちを目指すことが目的です。
- ・小学校1年生～中学校3年生までの学習内容を自由に選択し、学習することができます。AIにより、誤答や忘却曲線のタイミングを考慮した、学習者にあった最適な問題が出題されます。

(2) 市内全児童生徒にスクールEライブラリー（電子書籍）を導入

- ・タブレットを利用し、常時2000冊の中から好きな書籍を読むことができます。



【AIドリル「Qubena (キュービナ)」】

3 多様な個性を引き出す居場所づくりの推進

(1) 教育支援センター（名称はフレンドリールーム）の充実

不登校傾向を示す子ども達の居場所をつくるために、外部施設内に教育支援センターを2教室運営しています。教職経験のある指導員を配置し、学習支援や悩み相談ができるようにしました。その教室には、千冊以上の児童書に囲まれた畳のスペースがあり、読書や様々な活動ができる居心地のよい空間にしました。また、タブレットでAIドリルやオンライン授業が可能となり、児童生徒がやりたいことを自分で考え、自主的に取り組むことができるようにしました。



【児童書に囲まれた畳スペース（フレンドリールーム）】



【個別の学習机（フレンドリールーム）】

(2)相談教室の充実

教室へ入りづらさを持っている児童生徒の居場所づくりとして、3つの中学校と、拠点となる小学校に相談教室を設置し、市費でスクール相談員を配置しました。

- ・スクール相談員が常駐し、悩み相談ができ、リラックスできる空間にしました。
- ・自分で1日の時間割を計画し、教科によって通常教室で授業を受けるようにしました。相談教室内では、自分で計画を立て主体的に学んでいます。
- ・毎日登校、週1登校、放課後登校等、子ども達の事情に応じて、できる限り対応しています。



【城南中学校の相談教室（ホットルーム）】

4 未来の学校を市民でつくる。新設統合する海津小学校をきっかけにこれからの学校づくりを。

児童数の減少で海津町地域の小学校5校（高須小・吉里小・東江小・大江小・西江小）を統合し、令和6年4月に新たに「海津市立海津小学校」として開校します。「未来の学校づくり」として市民の意見を聞き、市民全員で夢のある学校を創り上げようという意識で取り組んでいます。

海津小学校の学校運営について議論していくことをきっかけにして、海津市内の学校へこれからの学校のあり方を広げていこうと考えています。

① 学校名：「海津市立海津小学校」

- ・海津町の小中学校児童生徒、教職員、保護者、さらに広く海津市民に学校名の募集をかけ、1,181の応募数、377の案の中から、令和4年3月に「海津小学校」と決定しました。

② 校歌：海津市出身のシンガーソングライター「足立佳奈」さんに制作依頼

- ・これから永く歌われるであろう校歌を、全国で活躍している海津市出身のシンガーソングライターに依頼することは、子ども達へ夢や希望を与えるとともに、ふるさとを誇りに感じる応援歌になると考えています。また、若者がリーダーとなってこれからの海津市を形づくっていく象徴になるとも考えています。



【足立佳奈（ソニーミュージック）】

■ 足立佳奈 (23)

- ・岐阜県海津市出身
- ・中学校在学中に、SONYMUSIC×LINE オーディショングランプリに応募。12万5,094人の応募者の中の頂点に立ち、ソニーミュージックに所属となる。
- ・デビュー以前に投稿したSNSで火が付き、約半年でTwitterのフォロワーが20万人以上増加
- ・2017年8月メジャーデビュー

③ 校章：海津市内にある県立海津明誠高等学校に制作依頼

- ・海津市立海津小学校の校章を海津明誠高校に依頼募集し、50種類以上のデザイン案が提案されました。数回の投票などの選定を経て決定していきます。

④ 地域連携地域サポーター：コミュニティスクールへの本格的移行

- ・5地域の小学校区が1つの小学校区になるため、各小学校区の文化や伝統行事など引き継ぎながらふるさと教育を推進していかななくてはならないと考えています。また、地域のボランティアサポーターとの連携も必要です。そのために、コミュニティスクールへの移行と共に、地域全体で子どもを育てていくというシステムの構築を進めています。

⑤ 市民ワークショップで教育全般について広くアイデアを出してもらいこれからの教育のあり方を話し合う機会をつくっています。

⑥ PTA組織・通学バス・学校規則・学校運営等:統合準備委員会の中に専門部会をつくり検討しています。